



題字 平原田 親

No. 976

2022/7/1

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都千代田区浅草橋2-1-3
浅草橋5丁目
電話 03-5839-2149(F)
FAX 03-5839-2141
http://www.jcf.or.jp
E-mail:okch@jcf.or.jp
社印 00110-1-21176

日中友好協会
岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-59 民生会館1F
TEL: FAX 0861-258-8808

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福河町東23461-41
TEL: FAX 0861-411-7808

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.jinaa.net/>
メールアドレス
nicchukayama@yahoo.co.jp



日中友好協会倉敷支部第18回総会に参加して

河井伸士

6月18日(土)ライブパーク倉敷で、日中友好協会倉敷支部の第18回総会が行われました。来賓として華僑華人総会の劉会長と、岡山支部から真田支部長と私が参加しました。

日中友好協会岡山県支部連合会の結成には、岡山支部と一緒に井笠支

部準備会を立ち上げ、数年間の念願である連合会を3月20日に発足させました。

また多彩な文化活動や、貴重な歴史と伝統を伝える『晋中不再戦と友好のきずな倉敷支部の15年のあゆみ』も発行しました。

中国問題文化講演会や、中国映画を見る会、中国文化に親しむ講座も開催しました。

日中両国間には歴史認識問題、人権問題、領土問題など懸案事項がありますが、今回のウクライナ問題にみられるような両国民の草の根の相互理解が必要だと思われま

す。22年度の運動方針として、中国との友好運動を進めて、若い人を会員に増やす。理事会の若返りをはかる。機関紙編集部を充実させ、日中友好新聞、日中『おかやま』への投稿、編集を充実させる。百科検定、文化講演会、中国映画を見る会など、学習活動をひろげ、会員を増やすなどを決め、新役員を決めて閉会となりました。



小林軍治さんが亡くなりました

日中友好協会岡山県支部連合会理事長、並びに日中友好協会岡山支部事務局長を兼務されていた小林軍治さんが亡くなられました。2022年6月24日享年81歳でした。

6月2日に検査入院され、消化器官がよくないと連絡をいただき、今後はラインで連絡をお願いします、ということでした。その後も何かあればラインで連絡をしい、19日にも折り鶴の展示について、井堀さんに場所と時間を教えてあげて、とメールをいただきました。

ところが、24日、私の職場に河井さんから電話があり、訃報を聞きました。あまりにも突然で、言葉がありませんでした。それから支部理事のラインで訃報を流し、翌日朝、通夜と葬儀の日程、場所などを連絡できる限りの方にメールしました。これ



から、岡山支部が遭遇する難題に全理事で当たらなくてはなりません。皆様のご支援をお願いします。小林さん安らかに眠りください。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

真田

一報を受けた矢崎事務局長からのメールを紹介し

す。突然の訃報が信じられず、言い知れぬ悲しみと喪失感に苛まれています。

小林軍治さんは、現在の対中感情が悪化する中で苦慮しながら進めている協会の運動を深くご理解くださっていました。

厳しさの中にも優しさがあり、私が父から継承した蒙古おどりのこともいつも応援してください、私にとっても大きな支えでした。

今年の春頃にお電話でお話したのが最後でしたが、その時には体調が悪いというお話は全くなかったので、まさかという思いです。

検査入院した後急に急変されたということでしょうか。ご家族の悲しみはいかばかりかと思えます。

小林さんのご冥福を祈り、小林さんの分も日中友好と反戦平和のために力を注がなければならぬと自分に言い聞かせるばかりです。

支部の現職の事務局長ですので、葬儀が家族葬で行われることも含めて、全国の組織に訃報を送らせていただきます。

取り急ぎ、お悔やみ申し上げ、お返事とさせていただきます。

矢崎光晴

私と日中友好協会①

日中友好運動への誘い

日中友好協会

倉敷支部 宇野忠義

戦中生まれて異常分娩や飢餓体験をした世代ですが、振り返ると、5件のことが中国との関連で思い起こされます。

第1は、中学生の時、辛亥革命と孫文の伝記を読み、また、教師より中国での従軍経験を聞かされたこと。ことに孫文の三民主義には共感しました。

第2は、1960年代日本農業の近代化が叫ばれていた当時、共同化に関心を寄せており、学生時代に人民公社の話聞き、展覧会を見学したこと。中国の本や雑誌も読みました。第3は、農業総合研究所に就職し、日本農業の研究の傍ら中国の農書を読む機会があり、『済民要術』など古典的農書が世界的に優れていることを知ったとき。

第4は、弘前大学及び岩手大学農学研究科で14年間、中国人留学生の修士課程、博士課程の教育、論文指導を行い、中国農業についても私自身も学習し、相互の交流を深め、無事10名の留学生が博士課程、修士課程を修了することが出来たこと。大学時代には、農業調査や講演、研究会で3度中国を訪問しました。

最初の訪問は1997年でしたが、ちょうど香港復帰7月1日を挟んだ時期で、甘肅農業大学で祝賀祭典に英国人教師と共に参加したことは、忘れられません。

第5は、2012年、日中友好協会倉敷支部の辛亥革命記念館、桂林などへの中国旅行への参加でした。中学生時代の「出会い」が、現地での見学となって、実現しました。

これをきっかけに、日中友好協会倉敷支部に参加し、その後、中国旅行3回、大学訪問1回と交流を深めており、かつての留学生を日本にも招きました。

人類史の視点から、日本と中国の関係や問題をとらえていきたいと考えています。



平和七夕まつり」は、平和の波おかやま実行委員会と表町商店街」が主催し、6月29日の岡山上空襲と戦争で亡くなられた人々の鎮魂、再び郷土を灰にすまい」の思いから始まりました。まさに商店街の活性化と平和の願いが一体化した取り組みです。

2022年の第24回平和七夕まつり」は、6月20日(月)〜7月20日(水)までです。日中岡山支部は、日本語教室、介護事業所「いほり」、太極拳講習会、他有志のみなさんの折鶴で3本の吹流しを作り、例年通りさんかく岡山付近に吊るしています。そのうち1本は、ウクライナの平和を祈って、ウクライナ国旗のデザインにしています。

青木

日中友好協会第71回大会

第10分科会に参加して(その2)

真田

千葉の西沢さん・加藤千洋著『沙飛 中国のキャバ』と呼ばれた戦場写真家の先駆者』を読んで感動しました。中国映画を再開しました。映画を選ぶのが難しいです。あの子を探して」初恋のきた道」を考えています。

京都の西岡さん・満州から生まれて三か月で帰ってきた。

大阪の浅田さん・大阪は6支部あるので、何かでつながれないかと考えています。各支部の女性部がつながれば活動の幅が広がる。王希奇氏の作品展「九四六」を企画しようと学習会をしています。青年と女性で映画を見る会を立ち上げました。生きる」を秋に上映します。会場費と資料代として500円いただいています。奈良の方が映画好きで100本以上持つていらつしやるので、協力してもらっています。

神奈川の牧野さん・映画を見る会を重視しています。

6支部ほとんどが2か月に一回映画を見る会をやるようにしています。25〜35人ほどの参加です。資料代で500円集めています。地方紙、日中新聞、赤旗などにチラシを折り込んでいます。参加者の感想はともよくて、アンケートを取って希望に沿うようにしています。

奈良の平井さん・2011年に再建して11年間細々とやっています。

千葉の西沢さん・中国に行けないので、千葉県内にある中国ゆかりの場所を訪ねて記事を書いています。孫文をかくまっていたところ、731部隊の石井中将が千葉出身で、忠魂碑が立っているところ、館山に清国の船が遭難し日本が救助した碑がたついているところなどです。

日中岡山支部2022年度総会

日時・7月31日(日) 10時

場所・岡西公民館

7月15日号新聞に2021年度の活動報告や2022年度の活動のすすめ方などの概要を折り込みます。会員の参加をお待ちしております。

次回の新聞発送作業は7月12日(火)午前10時半から民主会館1階で行います。前回お手伝いくださった方です。

内井田 林子
竹坪 真小愛